

管内の百名山「富士山」



冠雪(静岡県富士宮市田貫湖から)



紅葉に染まる富士山(西臼塚駐車場から)

また、富士山の森林保全管理、環境美化に対する関心は、富士山の世界遺産登録を目指した240万人を超える署名運動や国会請願をはじめ、様々なボランティア活動を含む各般各種運動の活発化などから、今後ますます高まるものと考えています。

近年、ニホンジカによる立木の食害が拡大し、その対策に苦慮しておりますが、静岡森林管理署は、この豊かな大自然に囲まれた富士山国有林の諸機能を高度に発揮させることを目標に、地元の自治体やボランティア団体等と連携し、真に国民共有の財産として日本の名峰を守るため職員一丸となって頑張っています。

(静岡森林管理署広報広聴連絡官)

富士山(3,776㍍)は、我が国の最高峰であり、その単独峰の雄姿から我が国を代表する景勝あるいは霊峰として広く国民に親しまれています。

登山シーズンは7月から8月で年間約40万人が訪れ、富士宮登山口から頂上の剣ヶ峰までは6時間前後で到達できます。近年ではその雄姿が諸外国からも脚光を浴び外国人観光客も急増しています。

一方、周辺地域への安定した水の供給源としての役割やヒノキ等を中心とした森林資源供給の場として地域社会や産業に多くの恵みを与えています。

しかしながら、平成8年9月の台風で国有林では広範囲(620㍍)に及ぶ甚大な森林被害が発生し、その復旧に向け、ボランティア団体、民間企業、静岡県等と協力して、森林(もり)づくり活動など各種活動を継続しています。



台風による被害の状況



ボランティアによる間伐作業